

## 産業廃棄物処理計画書

平成 30 年 6 月 29 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県柏崎市北斗町4番73号

氏名 大和運送建設 株式会社

代表取締役 元井秀哲

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0257-23-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和運送建設株式会社 建築部
事業場の所在地	新潟県柏崎市北斗町4番73号
計画期間	平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	400百万円
③従業員数	9人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>A. がれき類（コンクリートくず） ・再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化（一部最終処分『埋立』へ）</p> <p>B. がれき類（アスファルトくず） ・再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化</p> <p>C. 廃プラスチック類 ・最終処分業者へ委託 → 埋立処分（管理型） ・中間処理業者へ委託 → 焼却</p> <p>D. ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ・最終処分業者へ委託 → 埋立処分（安定型）</p> <p>E. 紙くず ・中間処理業者へ委託 → 焼却</p> <p>F. 木くず ・中間処理業者へ委託 → 焼却</p> <p>G. 石膏ボード ・中間処理業者へ → 分別（埋立） ・最終処分業者へ委託 → 埋立処分（管理型）</p>

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（29年度）実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類 コンクリートくず	がれき類 アスファルトくず	ガラス屑・陶磁器屑	廃石膏ボード		
		排出量	5.90 t	0.30 t	1.15 t	853.94 t	160.23 t	0.42 t	1.29 t	
	産業廃棄物の種類									
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)										
分別を徹底し、廃棄物をできる限り抑制し、再生可能なものは中間処理し、再資源化を図った										
【目標】										
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類 コンクリートくず	がれき類 アスファルトくず	ガラス屑・陶磁器屑	廃石膏ボード		
	排出量	5.30 t	0.25 t	1.03 t	768.00 t	110.00 t	0.30 t	1.10 t		t
	産業廃棄物の種類									
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)										
より徹底した分別を図り抑制する										

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	法に沿った分別解体を基本とし、再資源化処理を徹底した
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	可能な限り分別を徹底し、再資源化を図り、廃棄物抑制に取り組む

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類 コンクリートくず	がれき類 アスファルトくず	ガラス屑・ 陶磁器屑	廃石膏ボード	
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類 コンクリートくず	がれき類 アスファルトくず	ガラス屑・ 陶磁器屑	廃石膏ボード	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類 コンクリー	がれき類 アスファル	ガラス屑・ 陶磁器屑	廃石膏ボード	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類 コンクリー	がれき類 アスファル	ガラス屑・ 陶磁器屑	廃石膏ボード	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

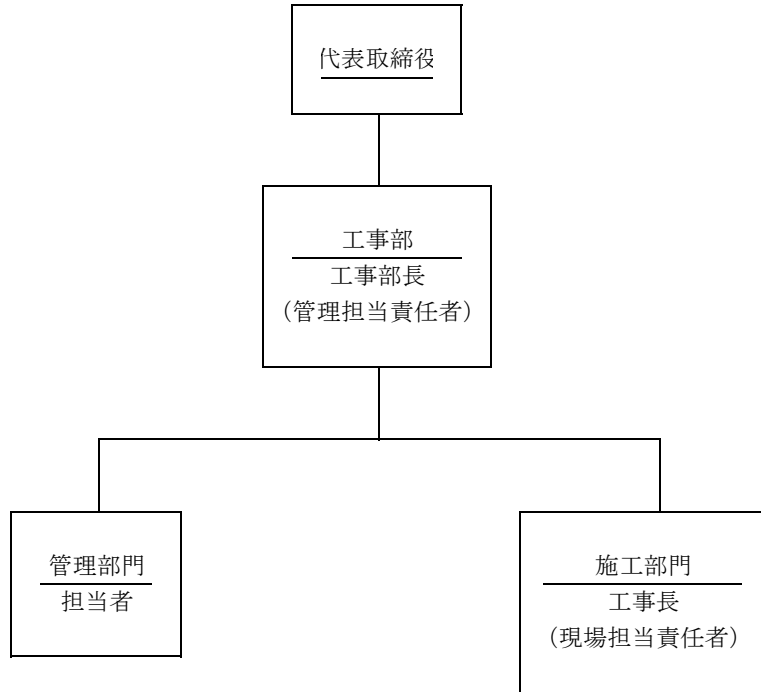
## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（29年度）実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類 コンクリートくず	がれき類 アスファルトくず	ガラス屑・ 陶磁器屑	廃石膏ボード		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	4.15 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.42 t	1.29 t		
	産業廃棄物の種類									
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまで実施した取組)										
分別解体を徹底し、中間処理業者へ少しでも搬出することで直接埋立の割合を減らす										
【目標】										
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類 コンクリートくず	がれき類 アスファルトくず	ガラス屑・ 陶磁器屑	廃石膏ボード		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	3.50 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.30 t	1.10 t		
	産業廃棄物の種類									
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)										
分別解体を徹底し、中間処理業者へ少しでも搬出することで直接埋立の割合を減らす										

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（29年度）実績】										
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類 コンクリート	がれき類 アスファルト	ガラス屑・ 陶磁器屑	廃石膏ボード		
	全処理委託量	1.75 t	0.30 t	1.15 t	853.94 t	160.23 t	0.00 t	0.00 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	1.75 t	0.30 t	1.15 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	853.94 t	160.23 t	0.00 t	0.00 t		
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまで実施した取組)										
産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施										

① 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類 コンクリートくず	がれき類 アスファルトくず	ガラス屑・ 陶磁器屑	廃石膏ボード		
	全処理委託量	1.80 t	0.25 t	1.03 t	768.00 t	110.00 t	0.00 t	0.00 t		t
	優良認定処理業者 への処理委託量	1.80 t	0.25 t	1.03 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		t
	再生利用業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	768.00 t	110.00 t	0.00 t	0.00 t		t
	認定熱回収業者 への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		t
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t		t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t		t
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t		t
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t		t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t		t
	(今後実施する予定の取組)									
	<p>廃棄物の適正処理を徹底すると共に、再生利用が可能な廃棄物については極力、再資源化を図る</p>									
※事務処理欄										



工事部	<ul style="list-style-type: none"><li>・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認</li><li>・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討</li><li>・社員、関連会社に対する教育、啓発</li><li>・その他の関する事項</li></ul>
管理部門	<ul style="list-style-type: none"><li>・廃棄物処理計画の作成</li><li>・監督官庁への各種報告</li></ul>
施工部門	<ul style="list-style-type: none"><li>・産業廃棄物管理票の交付・管理</li><li>・産業廃棄物の現場管理</li><li>・委託契約の締結</li></ul>